

平成 31 年度使用高等学校
(第 1 部)
教科書編集趣意書
地理歴史 (地図) 編

目次

	ページ
002 東書 新高等地図	1

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名
2 東 書	地図301	新 高 等 地 図 代表著作者 田林 明

■編集の基本方針

地図帳も教科書です。基礎・基本を大切にして、地理A、地理Bの内容はもとより歴史的な背景にも配慮して、高等学校段階の地理歴史科の教材にふさわしい地図帳をめざしました。

教育基本法の理念を踏まえ、知識技能の習得と、思考力や判断力・表現力の育成のバランスを重視する観点から、地図を読み解く力と地図の活用力の育成に意を用いました。

■編集上の主な特色と留意点

(1) 内容と教材配列

○「地理A」「地理B」の学習指導要領との関連

構成	指導内容
巻頭の主題図	世界の国々→世界の自然環境（地形，気候）
世界の諸地域	各地域の一般図と地域主題図
世界全体の主題	地図から考えてみよう→自然環境→資源と産業→人口→都市・村落→政治と経済→民族と文化→自然環境と防災
日本の諸地域	一般図
日本の主題図	自然環境→人口，産業など
巻末の統計資料	地質年代など→統計資料→索引→世界の主題図

巻頭には「地理A」「地理B」のご指導に便利なように、ご使用頻度が高いと思われる大地形と大気候の主題図を配しました。

(2) 地図の活用につながる配慮

○主な主題図には、読図のポイントや活用のヒントなどを「地図から考えてみよう」というコーナーを新設して明示しました。

例えば巻頭（1－2ページ）の「世界の国々」では、この図を正積図法で描いていることを生かした学習のポイントを例示しました。

○世界の主題図群の最初に、「地図から考えてみよう」（主題図を読む）を新設しました。

77ページには、「1. 栄養状態」「2. 1人当たりのGNI」「3. 平均寿命」の三つの図を配列しました。各図を読むポイントを例示するとともに、図相互の関連性や比較の観点を例示しました。このページの読図の仕方をほかの図にも援用できるように配慮しました。

（3）縮尺と図法の統一

○地理的認識の基礎は正確な空間認識にあります。そのために縮尺や図法の統一にできるだけ意を注ぐとともに特に世界図には正積図法を採用しました。

・世界、日本とも都市図は10万分の1で統一しましたので相互の比較が容易にできます。

（4）世界の動向に照らした一般図

○地理A, 地理Bのご指導で使用頻度が高い地域を大きく表現しました。

ヨーロッパの中央部（39-40ページ）とアメリカ合衆国の東岸と西岸（59-61ページ）を拡大して、この地域の特徴的な主題を記載しました。

○今日世界的に注目を浴びる地域を図の中心にすえた図取りを採用しました。

中央アジアを中心にした図（29-30ページ）、EUの拡大をふまえヨーロッパの全域をカバーした図（35-36ページ）、地中海とその周辺をカバーした図（45-46ページ）

○日本の近隣諸国を大きな縮尺で提示しました。

朝鮮半島（13-14ページ）、台湾（20ページ）、インドシナ半島から大スンダ列島にかけて（23-24ページ）

○見やすく識別が付きやすい表現に努めました。

国名や都道府県名には識別がしやすいように黒色のふちどりを施しました（23-24ページ99-100ページ）。

また、世界の独立国の国名はなるべくフルネームで表記しました。（31-32ページ）

○地図を検索しやすいように地域ごとに色を決めてインデックスを付けました。

（5）興味のわくビジュアルな視覚資料

○地図そのものの活用はもとより地域のイメージが具体的につかめるような写真や鳥瞰図などの視覚的立体的な資料を豊富に入れて、分かりやすい資料提示に努めました。

1) 世界の一般図には景観写真を組み合わせています。（例 10ページ）

2) 世界の主な地域の特徴を立体的にとらえられるように一般図に鳥瞰・断面図を併置しました。（例 11ページ）

3) ランドサットがとらえた衛星画像を提示しました。（99-100ページ）